STIEBEL ELTRON

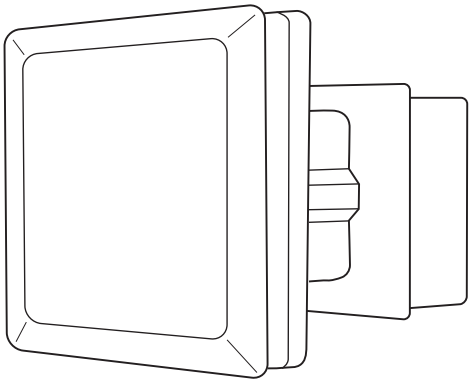
交互給排型
第一種熱交換換気システム

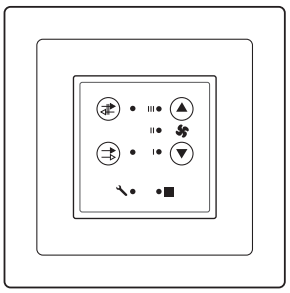
取扱説明書

（保証書付）

品　名……VLR－70シリーズ

型　名……●VLR－70SE　●VLR－70ST　●VLR－70SDF
●VLR－70WE　●VLR－70WT　●VLR－70WDF
●VLR－70BE　●VLR－70BT　●VLR－70BDF
●VLR－70CBE　●VLR－70CBT





お買い上げいただき、誠にありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

●ご使用前にP.1「1.安全上のご注意」を必ずお読みください。
●この取扱説明書は、必ず保証書とともにいつでも見ることができるところに保管してください。

日本スティーベル株式会社

もくじ

安全上のご注意 …… 1
機器の特長 …… 2
各部のなまえ …… 3
機器 …… 3
ディスプレイ …… 4

日常の運転 …… 5
運転前の準備 …… 5
風量の設定 …… 5
運転モードの設定 …… 6
運転を停止する …… 6
いろいろな使いかた …… 7
風量Ⅴ：運転時間制限の設定 …… 7
風量Ⅳ：運転時間制限の設定 …… 8
風量Ⅳ：停止設定 …… 9
一時停止運転の設定 …… 10
フィルターランプの点灯間隔の設定 …… 11
ランプの明るさ設定 …… 12
機器の運転時間確認 …… 12
設置台数の設定 …… 13

日常の点検とお手入れ …… 14
お手入れの目安と消耗品の入手方法 …… 14
フィルターの清掃と交換 …… 15
熱交換素子の清掃 …… 17
外気フードのお手入れ …… 17

故障かな？と思ったら …… 18
点検及び修理について …… 19
仕様 …… 20
保証書 …… 21

安全上のご注意 必ずお守りください

■誤った取扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を次の区分で表示しています。

警告 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷事故に結びつく可能性があるもの。	**注意** 誤った取扱いをしたときに傷害を負うことや財産の損害に結びつくもの。

■図記号の意味は次のとおりです。

してはいけないことを示します。	改造禁止
水濡れ禁止	必ず行うことを示します。

警告

- ●絶対に改造はしない。
- ●指示されている専用部品以外は使用しない。

- ●機器に水をかけない。
- ●機器が災害等により濡れた場合は、使用しない。

- ●濡れた手で機器を操作しない。
- ●機器の近くに、ガス類等の可燃性物質や爆発のおそれがある物質の保管や使用をしない。
- ●機器は、お手入れ中や、強風時、機器に異常が発生した場合以外は停止しない。

- ●機器は、必ず機器の質量に耐えることができる壁に固定する。
- ●お子様や身体に障害がある人が操作する場合は、監督者の管理のもと、または安全管理者による適切な指導を受けた上で使用する。

注意

- ●機器に荷重を掛けない。
- ●機器の周辺で加湿器等の水蒸気を発生させる機器を使用しない。
- ●機器を覆うようにカーテン等を設置しない。
- ●ファンが故障し動いていない場合は、使用しない。
- ●冷蔵庫や戸棚等の扉がディスプレイの前面になるよう配置しない。
- ●清掃の際に熱交換素子が濡れた状態のまま、ファンユニットモジュールに戻さない。
- ●機器を正常に動作させるために、離隔距離の範囲内に物を掛けたり、設置しない。

前面	800mm以上
上面、下面、左面、右面	100mm以上

- ●レンジフードや局所換気の使用時は窓を開けるなどして、屋内外の圧力差を緩和させる。
- ●機器の許容周囲温度の範囲内で使用する。
- ●フィルターが詰まると、故障の原因となりますので定期的に掃除をする。

- ●フィルターの点検、清掃をする場合は、必ずブレーカを「切」（ＯＦＦ）にする。
- ●点検、清掃をする場合は、怪我をしないように注意する。
- ●機器を使用する場合は、前面カバーを開いた状態で使用する。
- ●ダクトから強風等が吹き込む場合は、強風が収まるまで機器を停止して前面カバーを閉じる。
- ●外気温が低い場合に、専用の外気取り入れ口を設けずに局所換気や、排気風量の大きな機器を運転する場合は、機器の給気過多による熱交換器の着霜・結氷を防ぐために、「換気モード」に切り替えて使用するか、運転を一時的に停止する。
- ●機器の所有者が変わる場合には、必ず本取扱説明書を新しい所有者に引き継ぐ。
- ●機器に異常が発生した場合は、ファンを停止しブレーカを「切」（ＯＦＦ）にして日本スティーベル㈱お客さまセンターにお問い合わせください。
- ●本取扱説明書に付属している保証書に所定の事項が記入され、捺印があることを確認してください。
- ●機器の修理をご依頼の際は、必ず本取扱説明書に付属している保証書を修理業者にご提示ください。

機器の特長

ＶＬＲ－７０シリーズ（本書中では、機器と表記）は、交互給排型第一種熱交換換気システムです。

●壁に取り付けられたディスプレイで操作することができます。

●風量は、５段階に設定することができます。

●水洗いが可能なアルミニウム熱交換素子を介して給気と排気の熱エネルギーと交換することで、冷暖房コストの削減につながります。

●付属の前面パネル、並びに外気フードは、現代のインテリア、エクステリアにマッチしたモダンなデザインです。

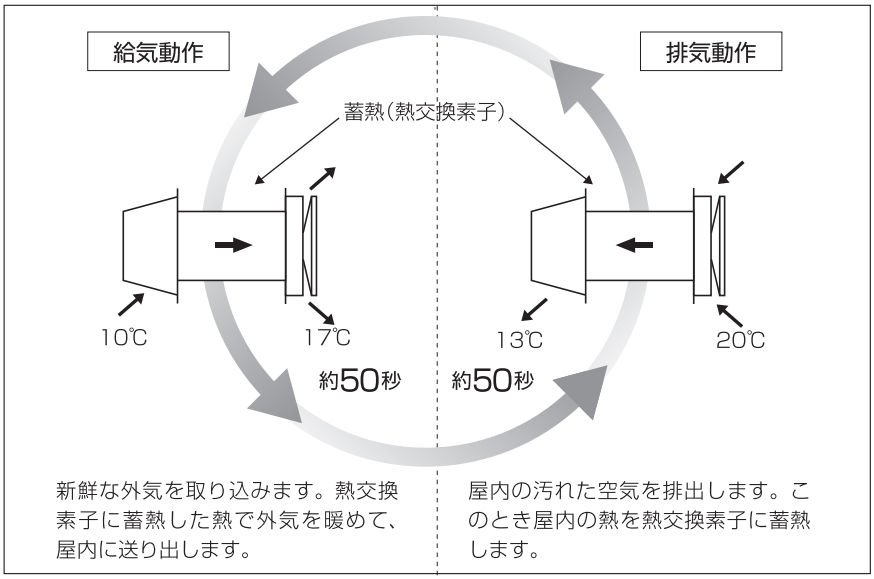
●２台１組になって、約５０秒ごとに給気と排気を切り替える熱交換モードと、１台ずつ給気と排気が固定された運転を行う換気モードを選択できます。

■機器の構成

機器は、２－８台のファンユニットモジュールと、１個のディスプレイが基本構成になります。８台以上の機器を設置する場合や、スペース毎に運転状態を設定したい場合は、ディスプレイを２個、または運転状態を分けたい数のディスプレイを使用します。

■ＶＬＲ－７０シリーズのユニークな熱交換方法 “熱交換モード”

ＶＬＲ－７０シリーズの給排気では、まず屋内の汚れた空気を約５０秒間排気します。その際にパイプ内部の熱交換素子に屋内の熱を蓄熱します（排気動作）。約５０秒後ファンが逆回転し、今度は新鮮な外気を約５０秒間取り込みます。その際に熱交換素子に蓄えられた熱を利用して外気と熱交換を行い、室内温度条件に近い空気に変換してから給気します（給気動作）。このサイクルを何度も繰り返すことで、１台で給気と排気、熱交換を行うことができます。換気による熱ロスも少なく、空気を常に新鮮に保つことができます。



■“換気モード” での本体の動作

機器は、偶数台のファンユニットモジュールと、１個のディスプレイが基本構成になります。例えば換気モードでは、熱交換はせず、機器ごとに給気専用または排気専用として連続運転します。

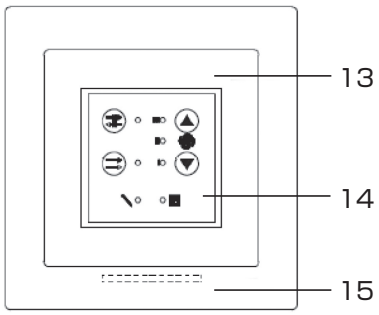
排気運転、給気運転する機器は施工時の配線によって決まっているため変更できません。

■熱交換モードと換気モードの違い

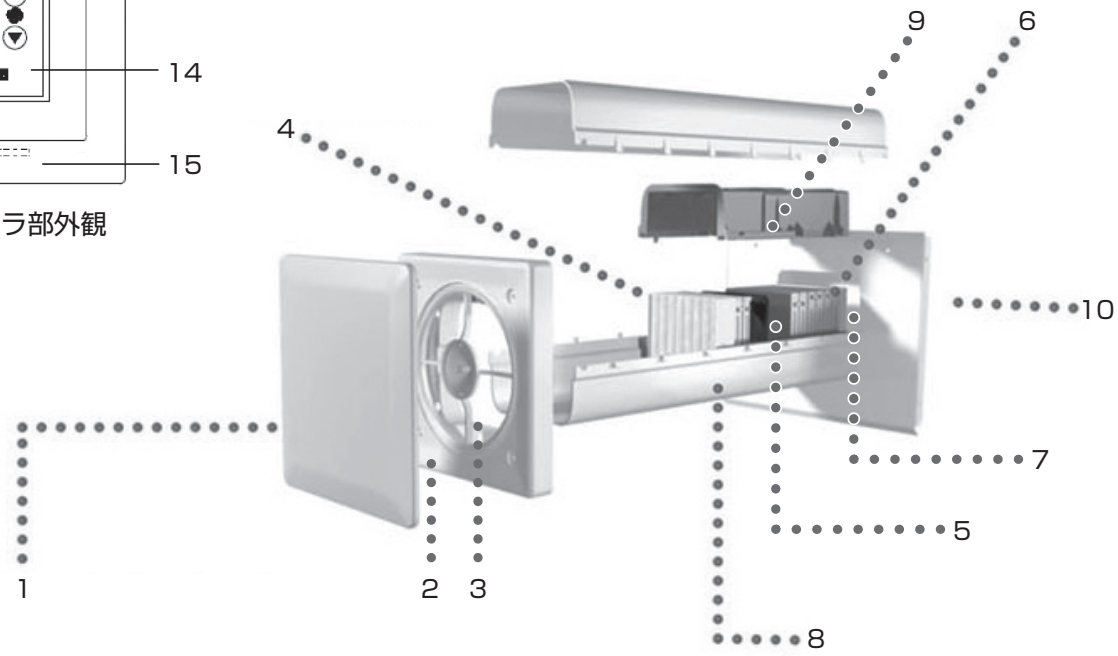
		ディスプレイ	ファンユニットモジュール１	ファンユニットモジュール2
熱交換モードの場合	約50秒毎に交互に切り替え		給気	排気
			排気	給気
換気モードの場合	常に給気、または排気で連続運転		給気	排気

各部のなまえ

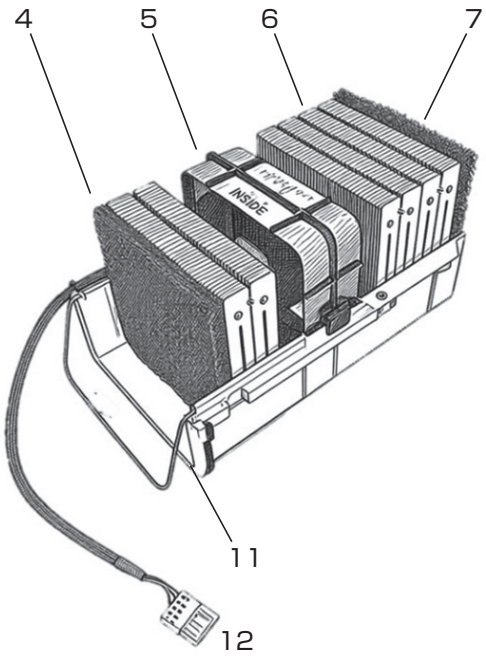
機器



コントローラ部外観



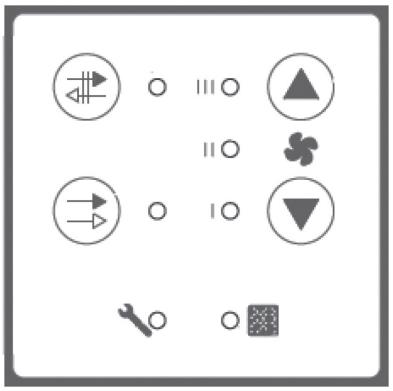
機器外観



ファンユニットモジュール内部

１：前面カバー
２：前面パネル本体
３：設置用プレート
４：室内側フィルター
５：ファンモーター
６：熱交換素子
７：屋外側フィルター
８：パイプ
９：ファンユニットモジュール
１０：外気フード または、深型外気フード
１１：引き出しグリップ
１２：制御コネクタ（オス）
１３：ディスプレイカバー
１４：ディスプレイ
１５：コントローラカバー

ディスプレイ



運転は熱交換モードと換気モードの２種類、風量は５段階の設定が可能です。
ディスプレイのボタンを押すことで設定を変更することができます。

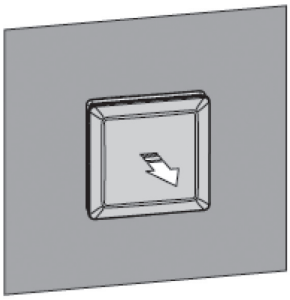
ボタン ランプ	名称	表示内容
▲	アップボタン	風量を大きくします。
▼	ダウンボタン	風量を小さくします。
○	換気モードボタン 換気モードランプ	換気モードで運転する場合に押します。
○	熱交換モードボタン 熱交換モードランプ	熱交換モードで運転する場合に押します。
○	風量Ⅲランプ	単独で点灯している場合は、４０㎥/ｈの風量で運転します。
○	風量Ⅱランプ	単独で点灯している場合は、３０㎥/ｈの風量で運転します。
○	風量Ⅰランプ	単独で点灯している場合は、２０㎥/ｈの風量で運転します。
○	フィルターランプ	清掃・交換時期に点灯します。
○	警告ランプ	エラー発生時に点滅します。

ご注意

●屋外の風が強い場合、フィルターを清掃する場合を除いて連続運転してください。
●熱交換モードで運転している場合、給気と排気が切り替わるときにわずかに異音がすることがありますが故障ではありません。

日常の運転

運転前の準備



①ブレーカを「入」（ＯＮ）にします。

②システムチェックのため各ランプが順次点灯後、ディスプレイが全点滅します。

③前面カバーを手前に引いて開けます。

④風量と運転モードの設定を行います。

⑤長期間停止する場合は、ブレーカを「切」（ＯＦＦ）にします。

MEMO

●初めてブレーカを「入」（ＯＮ）にするときは必ず、風量と運転モードの設定を行ってください。ランプが正常動作しません。

風量の設定

風量を多くしたい場合は、アップボタンを押します。
風量を少なくしたい場合は、ダウンボタンを押します。

運転状態	ランプ		動　作
風量Ⅴ	Ⅲ○ Ⅱ○ Ⅰ○	点灯	風量７０㎥/ｈで運転します。 （換気量は３５㎥/ｈ台）

▲ ▼

運転状態	ランプ		動　作
風量Ⅳ	Ⅲ○ Ⅰ○	点灯	風量４９㎥/ｈで運転します。 （換気量は２５㎥/ｈ台）

▲ ▼

運転状態	ランプ		動　作
風量Ⅲ	Ⅲ○	点灯	風量４０㎥/ｈで運転します。 （換気量は２０㎥/ｈ台）

▲ ▼

運転状態	ランプ		動　作
風量Ⅱ	Ⅱ○	点灯	風量３０㎥/ｈで運転します。 （換気量は１５㎥/ｈ台）

▲ ▼

運転状態	ランプ		動　作
風量Ⅰ	Ⅰ○	点灯	風量２０㎥/ｈで運転します。 （換気量は１０㎥/ｈ台）

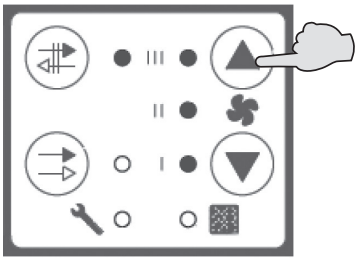
▲ ▼

運転状態	ランプ		動　作
一時停止	Ⅰ○	点滅	一時停止（初期値６０分）後 風量Ⅰ（初期値）で運転再開します。

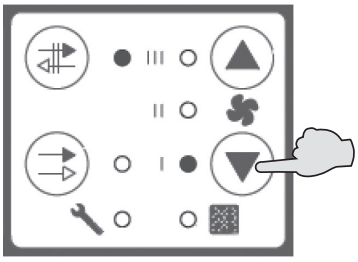
▲ ▼ 「停止」から▲を押すと「風量Ⅰ」になります。

運転状態	ランプ		動　作
停止		消灯	停止します。

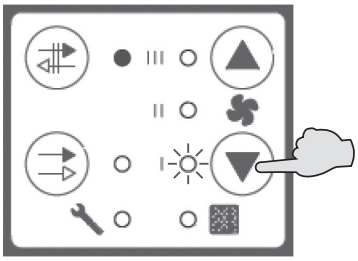
※風量は機器単体の給排気量、換気量は熱交換運転時の有効換気量です。



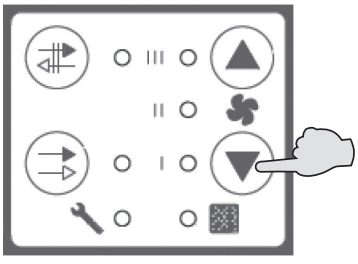
風量を多くする



風量を少なくする



一時停止状態



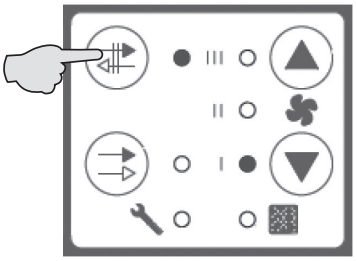
停止状態

MEMO

●一時停止時間の設定については、P．１０「一時停止運転の設定」を参照してください。

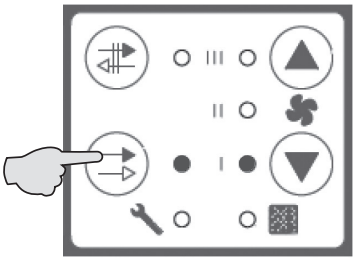
運転モードの設定

①熱交換換気を行う場合は、熱交換モードボタンを押します。



熱交換モードに設定

②熱交換換気を行わない場合は、換気モードボタンを押します。



換気モードに設定

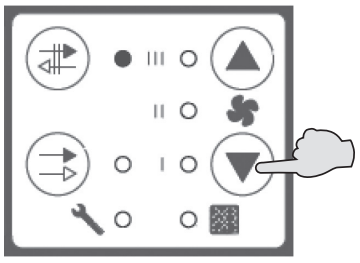
MEMO

●通常は、「熱交換モード」を使用してください。

運転を停止する

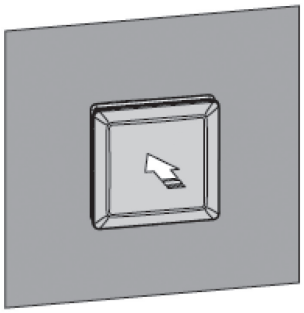
①短期間、運転を停止する場合は、一時停止状態からダウンボタンを押して風量ランプを全て消灯させます。

②長期間、運転を停止する場合は、ブレーカを「切」（ＯＦＦ）にします。



運転停止

③前面カバーを壁側に押して閉じます。



ご注意

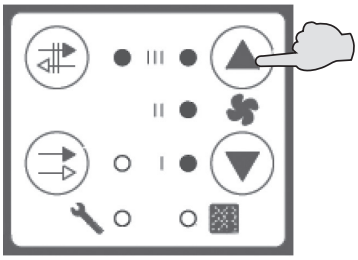
●強風時に前面カバーを閉じないと、外から屋内に風が吹き込む場合や、室内側に水滴が落ちることがあります。

いろいろな使いかた

風量Ⅴ：運転時間制限の設定

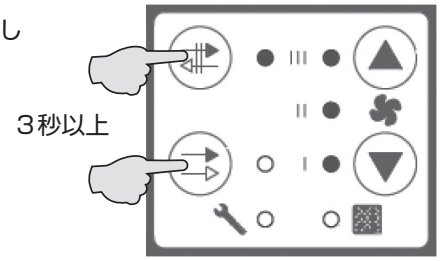
風量Ⅴに設定した時に、一定時間だけ風量Ⅴで運転し、その後は風量Ⅱに戻る運転を行うことができます。
風量Ⅴで運転する一定時間は、以下の手順で変更できます。
初期設定は時間制限なく、風量Ⅴの運転を継続します。

①アップボタンを押して風量Ⅴに設定します。



風量Ⅴで運転

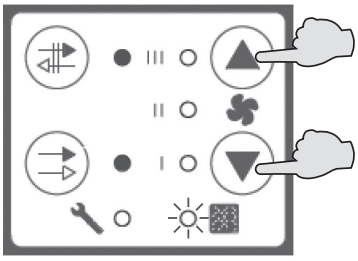
②①の状態で、熱交換モードボタンと換気モードボタンを同時に３秒間以上長押しします。



風量Ⅴでの運転状態

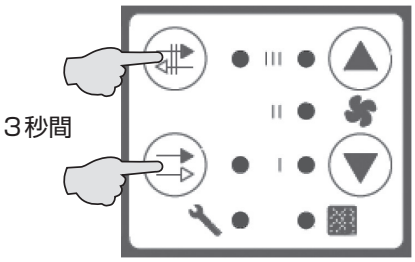
③熱交換モードランプと換気モードランプが点灯します。
初期設定は時間制限なしなのでフィルターランプが点滅します。

④アップボタン、ダウンボタンを押して、風量Ⅴの運転時間一覧を参照の上、変更します。



設定モード

⑤熱交換モードボタンと換気モードボタンを同時に３秒間長押しすると、全点灯後に変更した設定が確定します。



設定変更確定

MEMO

●⑤を実施しない場合は、設定変更は確定になりません。

風量Ⅴの運転時間一覧

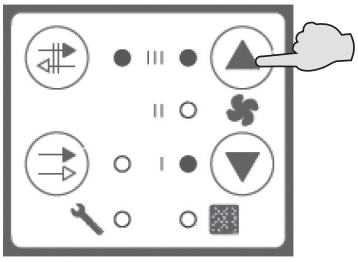
ランプ	時間制限なし	15分間	30分間	45分間	60分間	75分間	90分間	105分間
Ⅲ	○	○	○	○	○	○	☼	●
Ⅱ	○	○	○	○	☼	●	●	●
Ⅰ	○	○	☼	●	●	●	●	●
フィルター	☼	●	●	●	●	●	●	●

○: 消灯　●: 点灯　☼: 点滅

風量Ⅳ：運転時間制限の設定

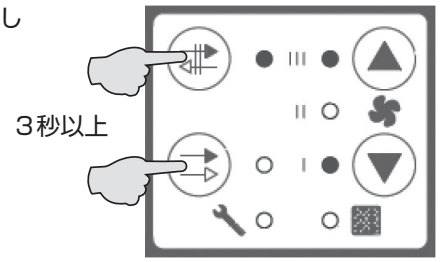
風量Ⅳに設定した時に、一定時間だけ風量Ⅳで運転し、その後は風量Ⅱに戻る運転を行うことができます。
風量Ⅳで運転する一定時間は、以下の手順で変更できます。
初期設定は時間制限なく、風量Ⅳの運転を継続します。

①アップボタンを押して風量Ⅳに設定します。



風量Ⅳで運転

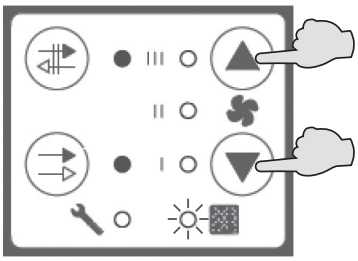
②①の状態で、熱交換モードボタンと換気モードボタンを同時に３秒間以上長押しします。



風量Ⅳで運転状態

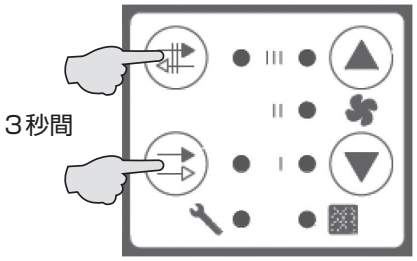
③熱交換モードランプと換気モードランプが点灯します。
初期設定は時間制限なしなのでフィルターランプが点滅します。

④アップボタン、ダウンボタンを押して、風量Ⅳの運転時間一覧を参照の上、変更します。



設定モード

⑤熱交換モードボタンと換気モードボタンを同時に３秒間長押しすると、全点灯後に変更した設定が確定します。



設定変更確定

MEMO

●⑤を実施しない場合は、設定変更は確定になりません。

風量Ⅳの運転時間一覧

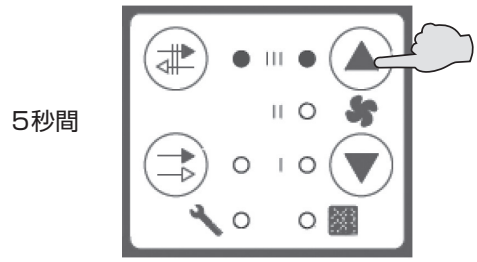
ランプ	時間制限なし	15分間	30分間	45分間	60分間	75分間	90分間	105分間
Ⅲ	○	○	○	○	○	○	☼	●
Ⅱ	○	○	○	○	☼	●	●	●
Ⅰ	○	○	☼	●	●	●	●	●
フィルター	☼	●	●	●	●	●	●	●

○: 消灯　●: 点灯　☼: 点滅

風量Ⅳ：停止設定

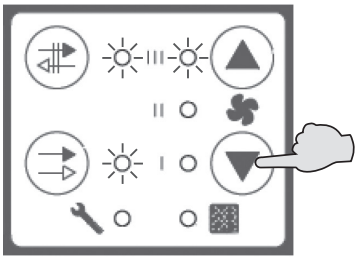
風量Ⅳの運転を行えないようにする設定です。
設定後は、風量Ⅲでアップボタンを押すと、風量Ⅴの設定に切り替わります。
風量Ⅳでの運転はできません。

①風量Ⅲの状態からアップボタンを５秒間長押しします。

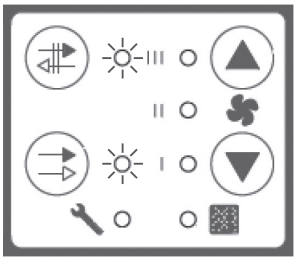


運転状態例

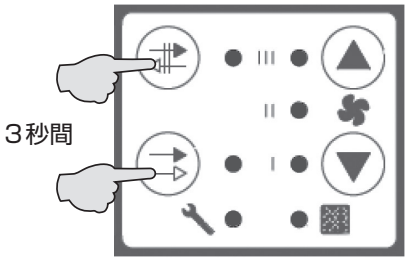
②熱交換モードランプと換気モードランプ、風量Ⅲランプが点滅します。


風量Ⅳの停止設定

③ダウンボタンを押して、風量Ⅲランプを消灯します。



④熱交換モードボタンと換気モードボタンを同時に３秒間長押しすると全点灯後に、風量Ⅳの設定を停止できます。



設定変更後

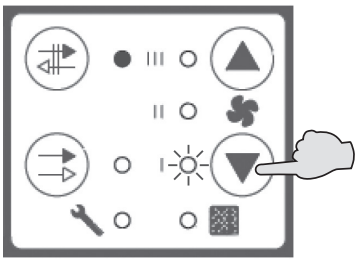
MEMO

●④を実施しない場合は、設定変更は確定になりません。
●②の状態でアップボタンを押して、風量Ⅲランプを点滅させると、風量Ⅳの設定を再開できます。

一時停止運転の設定

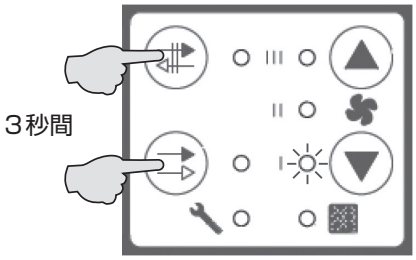
一時停止運転の停止時間と再開時の風量を設定します。
初期設定は６０分間一時停止で、再開後は風量Ⅰで運転します。

① 風量Ⅰの状態からダウンボタンを押すと風量Ⅰ（初期設定）のランプが点滅して、一時停止状態になります。



一時停止状態

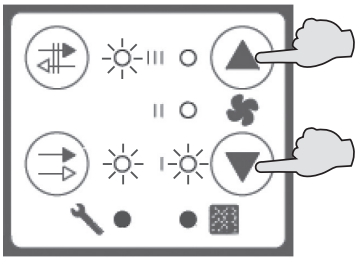
② ①の状態から熱交換モードボタンと換気モードボタンを同時に３秒間長押しします。



運転状態例

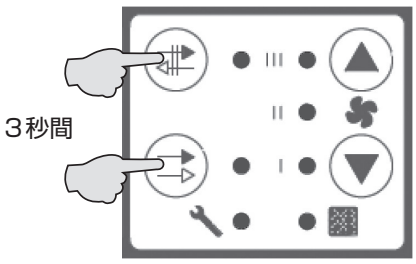
③熱交換モードランプと換気モードランプが点滅、警告ランプが点灯します。初期設定は60分間一時停止なのでフィルターランプが点灯します。

④ アップボタン、ダウンボタンを押して、再開時の風量と一時停止時間一覧を参照し、変更します。



一時停止時間変更状態

⑤熱交換モードボタンと換気モードボタンを同時に３秒間長押しすると、全点灯後に変更した設定が確定します。



設定変更確定

MEMO

●⑤を実施しない場合は、設定変更は確定になりません。

再開時の風量と一時停止時間一覧

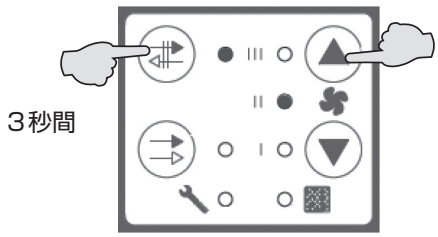
再開後の風量	－	風量Ⅰ				風量Ⅱ		
ランプ	停止	30分間	60分間	90分間	120分間	30分間	60分間	90分間
Ⅲ	○	○	○	○	○	○	☼	●
Ⅱ	○	○	○	○	☼	●	●	●
Ⅰ	○	○	☼	●	●	●	●	●
フィルター	☼	●	●	●	●	●	●	●

○: 消灯　●: 点灯　◎: 点滅　☼: 点滅（図中）
停止：風量Ⅰの状態でダウンボタンを押すと、機器は停止します。

フィルターランプの点灯間隔の設定

フィルターランプの点灯間隔を何カ月間隔にするかを設定できます。
初期設定は６ヶ月間隔で点灯します。

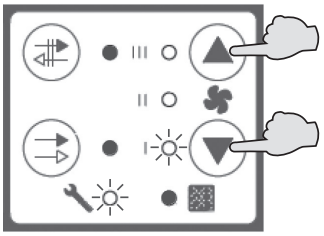
①熱交換モードボタンとアップボタンを同時に３秒間長押しします。



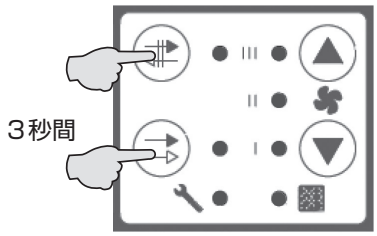
運転状態例

②熱交換モードランプと換気モードランプが点灯、警告ランプが点滅します。初期設定は6ヶ月なのでフィルターランプが点灯、Ⅰが点滅します。

③ アップボタン、ダウンボタンを押して、フィルターランプの点灯間隔一覧を参照し、変更します。


フィルターランプ点灯間隔変更状態

④熱交換モードボタンと換気モードボタンを同時に３秒間長押しすると、全点灯後に変更した設定が確定します。



設定変更確定

MEMO

●④を実施しない場合は、設定変更は確定になりません。

フィルターランプの点灯間隔一覧

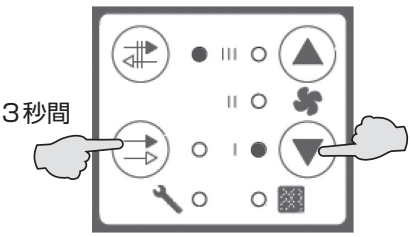
ランプ	12ヶ月	9ヶ月	6ヶ月	3ヶ月	フィルターランプ 点灯間隔リセット	設定なし		
Ⅲ	○	○	○	○	○	○	☼	●
Ⅱ	○	○	○	○	☼	●	●	●
Ⅰ	○	○	☼	●	●	●	●	●
フィルター	☼	●	●	●	●	●	●	●

○: 消灯　●: 点灯　☼: 点滅

ランプの明るさ設定

ランプの明るさを調整できます。

①換気モードボタンとダウンボタンを同時に３秒間長押しします。

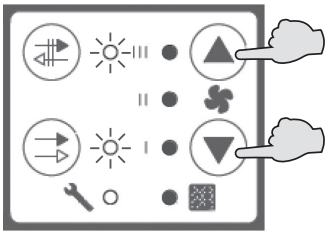


運転状態例

②警告ランプ消灯、換気モード/熱交換モードランプが点滅、他のランプが点灯します。

③アップボタン、ダウンボタンを押して、ランプの明るさを変更します。

④数秒後にその明るさの設定を自動保存します。

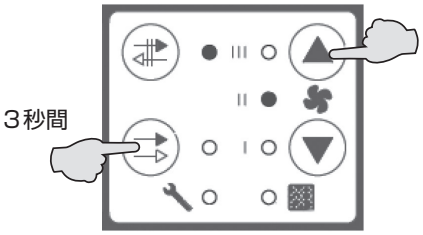

ランプの明るさ変更状態

機器の運転時間確認

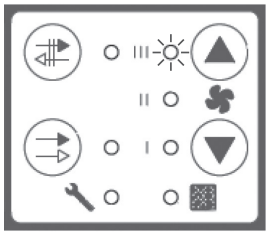
機器がおよそ何時間使用しているか確認することができます。

①換気モードボタンとアップボタンを同時に３秒間長押しします。

②フィルターランプ、風量Ⅰ／風量Ⅱ／風量Ⅲランプが、機器の運転時間に応じて順番に点滅します。
点滅を2度繰り返した後、通常表示に戻ります。



運転状態例


運転時間ランプの点滅例

点滅1回ごとの運転時間一覧

点滅ランプ	フィルター	風量Ⅰ	風量Ⅱ	風量Ⅲ
運転時間	10時間以上	100時間	1000時間	10000時間

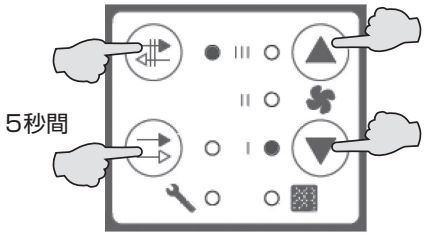
MEMO

●フィルターランプ2回、風量Ⅰランプ3回、風量Ⅱランプ１回の点滅時は、
（10時間×２）＋（100時間×３）＋（1000時間×１）＝1320時間です。

設置台数の設定

奇数台数設置（3／5／7）の場合、給排気量と屋内外差圧を適正化するために設定変更が必要です。
初期設定は偶数台設置（2／4／6／8）です。

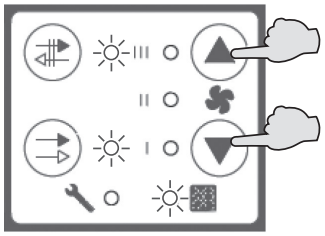
①熱交換モードボタンと換気モードボタン、アップボタン、ダウンボタンを同時に５秒間長押しします。



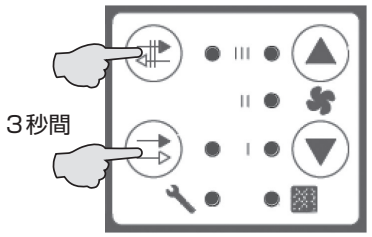
運転状態例

②熱交換モードランプと換気モードランプが点滅します。

③アップボタン、ダウンボタンを押して、機器の設置台数一覧に合わせて、点灯箇所を変更します。


奇数台数への変更前状態

④熱交換モードボタンと換気モードボタンを同時に３秒間長押しすると、全点灯後に変更した設定が確定します。



設定変更確定

MEMO

●④を実施しない場合は、設定変更は確定になりません。

機器台数一覧

ランプ	2台	3台	4台	5台	6台	7台	8台
Ⅲ	○	○	○	○	○	○	○
Ⅱ	○	○	○	○	○	○	○
Ⅰ	○	○	○	☼	○	●	○
フィルター	☼	●	☼	●	☼	●	☼

○: 消灯　●: 点灯　☼: 点滅

日常の点検とお手入れ

お手入れの目安と消耗品の入手方法

機器は定期的にフィルターの清掃等のお手入れが必要です。

■お手入れ内容と目安一覧

清掃/交換項目	お手入れ目安	参照ページ
フィルター清掃	6ヶ月、またはフィルター清掃サインが点灯したとき	P.15
フィルター交換	1年	P.15

ご注意

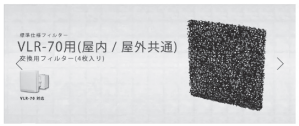
●ベンジン、シンナー、クレンザー、ナイロン、たわし等の使用は、機器や部品等を傷めますので絶対にお止めください。

●上記、フィルター交換の時期は、あくまでも目安であり、その期間中、交換しなくて良いと保証するものではありません。使用環境によっては、上記期間より早く交換が必要になります。

■交換用フィルターのネット購入について

機器の交換用フィルターは、右図のQRコードからのサイト、または下記のサイトから購入することができます。

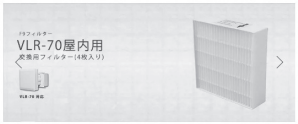
https://nihonstiebel-ec.shop-pro.jp/



標準仕様フィルター
VLR-70 用（屋内／屋外共通）
1,650 円（税別）



アレルスイープ® F9 フィルター
VLR-70 屋内用
3,300 円（税別）



F9 フィルター
VLR-70 屋内用
6,600 円（税別）



G4 フィルター
VLR-70 屋内用
3,300 円（税別）



活性炭フィルター
VLR-70 屋外用
3,300 円（税別）

商品名

ＶＬＲ－７０用（屋内／屋外共通）
ＶＬＲ－７０屋内用
ＶＬＲ－７０屋外用

＜フィルター機能＞
●アレルスイープ：有害物質を抑制
（ウイルス、細菌、アレル物質 Ｆ９相当）
●Ｆ９フィルター
●Ｇ４フィルター
●標準仕様フィルター（Ｇ２相当）
●活性炭フィルター（Ｇ２相当）
高 Ｆ９＞Ｇ４＞Ｇ２ 低：集塵効果

おねがい

●必ずご使用になっている機器の型式をご確認の上、対応している交換用フィルターをご購入ください。

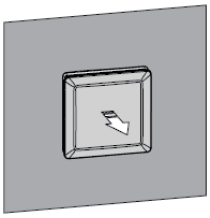
フィルターの清掃と交換

作業するときは、必ず機器のブレーカを「切」（ＯＦＦ）にしてから作業をしてください。機器のブレーカが「入」（ＯＮ）状態のまま作業すると、故障や、感電、火災の原因となりますので絶対にお止めください。

ご注意

●機器が高所にある場合は、安全のために二人で作業してください。
また脚立等で足元が安定した状態で作業してください。

①前面カバーを開いて、前面カバーを反時計回りに４５° 回転させ、手前に引いて取り外します。

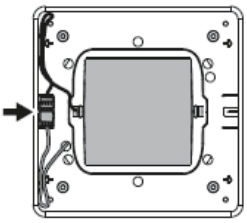




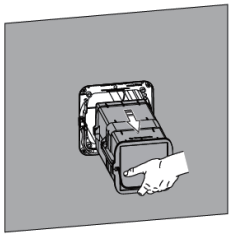
②前面パネル本体を固定している４本のネジを反時計回りに回して外した後、前面パネル本体を手前に引いて設置用プレートから取り外します。



③ファンユニットモジュールの制御コネクタを設置用プレートのフックから横にずらして外した上で、オスとメスを分離させます。



④ファンユニットモジュールの引き出しグリップを手前に引いてファンユニットモジュールを取り出します。



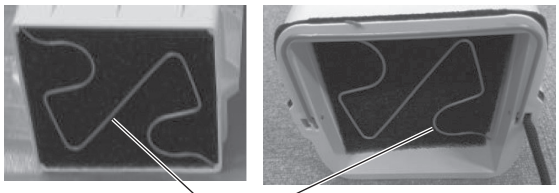
ご注意

●制御コネクタの配線を持って外さないでください。



制御コネクタ

⑤フィルター支持材を手前に引いて取り外します。

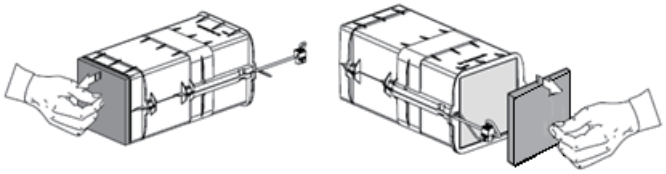


フィルター支持材

MEMO

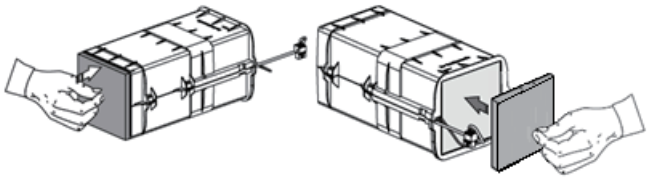
●フィルター支持材は標準仕様／活性炭フィルター専用です。
アレルスイープ、F9、G4 を取り付ける場合はフィルター支持材を取り外します。

⑥ファンユニットモジュールの屋外側／屋内側のフィルターを、それぞれ矢印の方向に引いて取り外します。



⑦フィルターを掃除機等で清掃します。

⑧逆の手順でファンユニットモジュールを元の状態に戻してください。

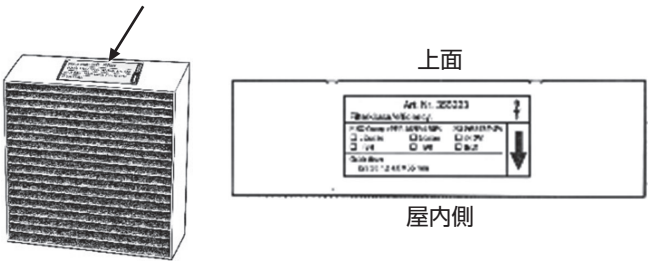


⑨ファンユニットモジュールの屋外側／屋内側に、それぞれ専用のフィルターを取り付けます。

MEMO

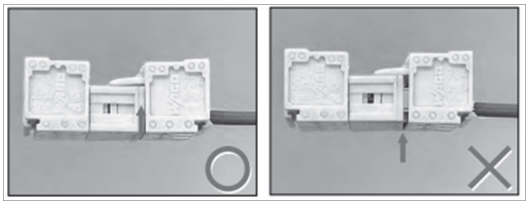
●アレルスイープ／Ｆ９フィルター／Ｇ４フィルターは、ラベルが上面、矢印の根元が屋外側、矢印の先が屋内側になるように取り付けてください。

●アレルスイープ／Ｆ９フィルター／Ｇ４フィルターを取り付ける時は標準仕様フィルターを取り外してください。

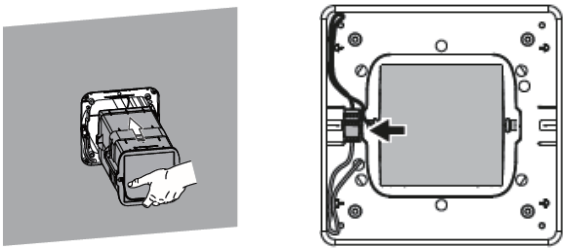


⑩ファンユニットモジュールを元の位置に戻し、ファンユニットの制御コネクタを接続します。

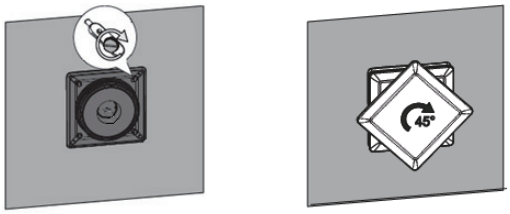
制御コネクタ間に隙間が開かないようにしてください。



⑪ファンユニットモジュールの制御コネクタを設置用プレートのフックに固定します。

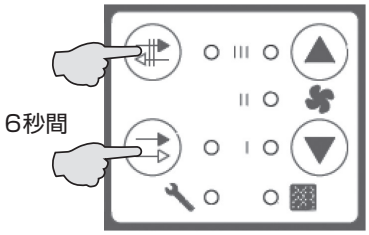


⑫前面カバー、前面パネル本体を元の状態に戻します。



⑬ブレーカを「入」（ＯＮ）にします。

⑭熱交換モードボタンと、換気モードボタンを同時に６秒間長押ししてフィルターランプを消灯します。



熱交換素子の清掃

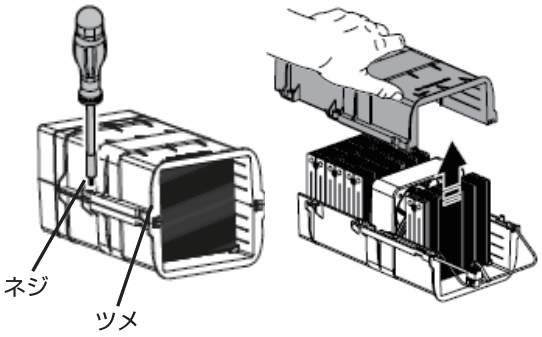
① P.15「フィルターの清掃と交換」に従ってファンユニットモジュールを取り出します。

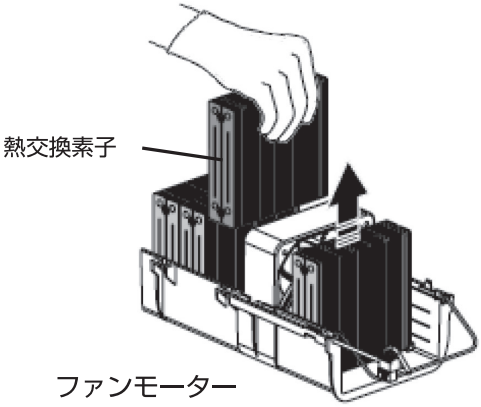
②ファンユニットモジュール側面のネジ２本を外した上で、上下のケーシングのツメ部分を外して、ファンユニットモジュールのケーシングを取り外します。

③熱交換素子を取り外して個別に水洗いします。水洗い後は、しっかりと乾燥させたうえでファンユニットモジュールに戻します。

④ファンやファンユニットモジュールのケーシングは乾拭きします。

⑤ 逆の順序でファンユニットモジュールを元の位置に戻します。





ご注意

- ●熱交換素子は濡れたままでファンユニットモジュールに戻さないでください。
- ●ファンやファンユニットモジュールのケーシングは濡らさないでください。
- ●工具等が必要になりますので無理に清掃せず、できるだけ専門業者にご依頼ください。

外気フードのお手入れ

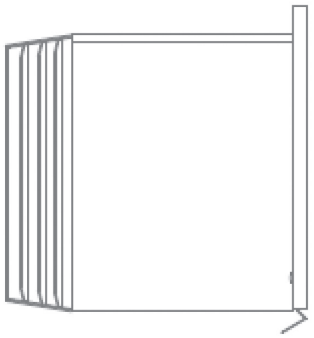
ご注意

- ●外気フードが高所にある、または作業しづらい場所にある場合は、ご自身でお手入れをせず、専門業者にご依頼ください。

①ブレーカを「切」（ＯＦＦ）にします。

②外気フードのホコリや、汚れを、布やブラシを使って取り除きます。

③ブレーカを「入」（ＯＮ）にします。



MEMO

- ●塩分や黄砂、鉄粉等が付着したまま放置しますと、錆が発生する原因となりますので、塩害エリアや、工場地帯、鉄道の近傍に立地する場合は、定期的に水洗いを行ってください。
- ●強風の際に、沿岸部でなくても飛散した海水等の塩分が付着することがありますので、強風の後等は水洗いを行ってください。
- ●コーキング材の亀裂や、痩せ等で、シール部に隙間がないか定期的に確認してください。
- ●防火ダンパーが設置されている場合は、ダンパーが全開になっていること、また温度ヒューズに腐食がないことを定期的に確認してください。

故障かな?と思ったら

下記の症状が見られる場合、はじめにブレーカを「切」（ＯＦＦ）にし、６０秒経過後に再度ブレーカを「入」（ＯＮ）にした後、確認項目について処置内容を実施してください。

現　象	確認項目	処置内容	参照ページ
ファンが回らない。	風量ランプ	アップボタンを押して、風量Ⅰ～風量Ⅲランプを点灯させてください。	P.5
	ブレーカ	ブレーカが「入」（ON）であることを確認してください。	P.5
	制御コネクタ	（オス）と（メス）が外れていないことを確認してください。	P.16
換気されていない	前面カバー	前面カバーを開けてください。	P.5
	外気フード	外気フードが目詰まりしていないこと、防火ダンパーが閉じていないことを確認してください。	P.17
警告ランプが点滅している	警告ランプ	点滅の間隔を確認の上、日本スティーベル㈱お客さまセンターにお問い合わせください。	P.19
ランプが明るすぎる	ディスプレイ	p.12「ランプの明るさの設定」に従って明るさの設定を変更してください。	P.12
ランプが点灯していない	ブレーカ	ブレーカが「入」（ON）であることを確認してください。	P.5

上記の処置後も症状が改善しない場合は日本スティーベル㈱お客さまセンターにお問い合わせください。

次の場合は故障ではありません。

現　象	原　因	参照ページ
厳寒期にカラカラと音が鳴る	室内温湿度、外気湿度、風速の条件によりファンユニットモジュールの屋外側に着氷している可能性があります。風量を一時的に「強」に設定して解氷します。 それでも音が継続する場合は、ファンユニットモジュールを取り出し、着氷したものを解氷、乾燥させた上で戻してください。	――
風が強い日に風量が少なくなる	一定風速以上の風が外から吹き込むと機器の風量が少なくなる場合があります。	――
風が強い日に機器が停止することがある	一定以上の風速の風が外から吹き込むと機器が停止することがあります。 風が収まるまでは、機器を停止してください。	ブレーカを「切」（OFF）にし、60 秒経過後に再度ブレーカを「入」（ON）にすることでリセットされます。
レンジフードを回すと機器が停止することがある	一定以上の屋内外圧力差が生じると機器が停止することがあります。レンジフードを使用の際には給気のために窓を開けるなど、屋内外の圧力差を緩和させてください。	
機器の停止後、電源を入れ直すと正常に動作する	レンジフードやガス乾燥機、または強風の吹き込み等で風量のバランスの崩れから機器を保護するための一時停止です。この機能によりファンに能力以上の負荷がかからないようにして、機器寿命が短くなることを防ぎます。レンジフードや強風の吹き込み等と関係なく停止する場合は日本スティーベル㈱お客さまセンターにお問い合わせください。	――

点検及び修理について

(1) アフターサービス(点検・修理)を依頼される場合

アフターサービスを依頼される前に、この取扱説明書のP．１８「故障かな？と思ったら」をよくお読みの上、それでも不具合がある場合、あるいは不明な点がある場合は、ご自分で修理なさらないで下記のＱＲコードから日本スティーベル㈱ホームページのお問い合わせフォーム、または日本スティーベル㈱お客さまセンターへお問い合わせください。

日本スティーベル㈱お客さまセンター

TEL：03-5715-4655

アフターサービスを依頼される場合は、保証書をご覧の上、次の項目をお知らせください。

① 機種名：保証書、または銘板ラベルに併記

② 製造番号：保証書、または銘板ラベルに併記

③ 不具合の内容：ファンが動作しない等の症状、及びご使用条件

④ お取付け年月日

⑤ お名前、ご住所、電話番号

(2) 補修用部品の最低保有期間について

この機器の補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後６年です。補修用部品とは、その機器の機能を維持するための部品です。

(3) 保証について

この機器は、お取付け日から３年保証です。
保証書は、お取扱い店、または施工店からお渡しいたしますので、必ず「お取扱い店」、「お取付け日」、「製造番号」等の記入をお確かめになり、保証書の内容をよくお読みの上、保管してください。
修理を依頼される場合、日本スティーベル㈱お客さまセンターにお問い合わせください。保証期間内であれば、消耗品を除き、保証書の記載内容に基づき無料修理を行ないます。保証期間を過ぎても、修理により機器の機能が維持できる場合にはご要望により有料修理いたします。

おねがい

●お客様ご自身で分解、改造した場合は、保証期間であっても無料修理の対象とはなりませんので、予めご了承ください。

●電気の配線工事、機器の設置工事に起因する問題に関しては、機器の保証期間であっても無料修理の対象とはなりませんので、予めご了承ください。

仕様

型　名		VLR−70
定格電圧　定格周波数		100V　50／60Hz
コントローラセット　＊1	本体4台用	VLR−70トランス4台用
	本体6台用	VLR−70トランス6台用
	本体8台用	VLR−70トランス8台用
前面パネル寸法（mm）	幅×高さ×奥行	257.0×257.0×45.0（開状態65.0）
前面パネル色		記載なし：白　／B：マットブラック　／G：マットグレー
パイプ寸法（mm）		166.0×144.0×243.0（樹脂） 170.0×155.0×286.0（金属）防火ダンパーN型付き
外気フード寸法（mm）	標準	272.0×191.2×146.6
	深型	272.0×191.2×184.0
外気フード色		S：シルバー色　W：白色　B：黒色　CB：茶色（標準のみ）
外気フード材質		SUS
本体質量（kg）	前面パネル	0．90
	ファンユニット	2．00
	外気フード	0．87
	深型外気フード	1．00
フィルタークラス	屋内側／屋外側	G2／G2
使用条件		−25℃〜40℃
オプション品		コントローラ延長ケーブル（50m巻）
		VLR−70 CO_2センサーセット
		VLR−70 湿度センサーセット

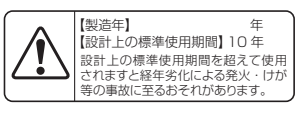
＊1：VLRの使用台数により異なります。

設定風量		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ
換気量（㎥/h）		10	15	20	25	35
風量（㎥/h）		20	30	40	49	70
消費電力（W）		3.40	5.10	6.80	8.33	11.90
比消費電力（W／㎥/h）		0.17				
騒音（dB（A））		17	22	29	33	41
温度交換効率（%）	暖房条件	92	90	88	76	67
	冷房条件	86	81	77	73	65

湿度交換効率：53.7%（20m^3/h時）　42.9%（70m^3/h時）
外気条件　：温度35℃ 湿度60%
室内条件　：温度23℃ 湿度70%
試験条件　：DIBt LÜ-A No.22-2.1

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

＜機器への表示内容＞
経年劣化により危害の発生が高まる恐れがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた右記の内容を本体に表示しています。



＜設計上の標準使用期間とは＞
運転時間や温湿度など、標準的な使用条件（下表による）に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
機器の設計上の標準使用期間は、製造年を始期としJIS C9921−2に基づいて下記の想定時間を用いて算出したもので、無償保証期間とは異なります。
○「経年劣化」とは、長期間にわたる使用や放置に伴い生じる劣化をいいます。

■標準使用条件 JIS C9921−2 による

環境条件	電圧	単相100V	定格電圧による
	周波数	50Hzおよび60Hz	
	温度	20℃	ＪＩＳ　C9603から引用
	湿度	65%	
	設置条件	標準設置	取付説明書による
負荷条件		定格負荷	取扱説明書による
想定時間	1年間の使用時間	24時間換気8760時間／年	

保 証 書

本書は、下記〈無料修理規定〉に基づいて下記型名の機器の無料修理を行うことをお約束するものです。当該機器以外の機器類は、修理の対象といたしません。お取付け日から３年以内に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、日本スティーベル㈱にお問い合わせください。

お客様	フリガナ	
	お名前　　様	
お取扱い店	社名　　印 〒 住所	取扱者 印
	電話（　　）　　－	
お取付け日	年　　月　　日	

型　名	VLR－70	
製造番号	－　　－	
保証期間	製　品	お取付け日から3年

機器はお取付け日から3 ヶ年保証です。

★お客様へ

この保証書をお受け取りになるときは、お取付け年月日、お取扱い店名、製造番号の記載、並びに取扱者印の捺印があることを確認してください。保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

この保証書は、本書に明示した期間、次の条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

（無料修理規定）

１．お引渡しの仕様条件で取扱説明書、機器に貼られているラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、表記期間無料修理いたします。

２．保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、日本スティーベル㈱にご依頼の上、修理をお受けになる時に本書をご提示ください。

「お取付け日」の記載がない場合、日本スティーベル㈱の出荷記録に基づいて、出荷日を「お取付け日」として起算します。

３．ご転居等、お取付け場所を移動する場合は、予め日本スティーベル（株）にお問い合わせください。

４．保証期間内でも次の場合は有料修理となります。

（A）修理、または交換を必要とする不具合部品を交換せずに継続して使用した場合。

（B）使用上の不注意、過失による不具合、及び不当な修理や改造による故障や損傷の場合。

（C）お取付け後の移設、及び取付説明書に基づいたお取付けがなされていなかったことに起因する故障、及び損傷の場合。

（D）火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変、公害、腐食性ガス等の有害ガス、塩害、異常電圧、ねずみ、鳥、くも、昆虫類の侵入、及びその他の外部要因による故障、及び損傷の場合。

（E）指定外の電源（電圧・周波数）で使用した場合の故障や損傷。

（F）一般の建物以外（例えば車輌・船舶・粉塵やガスの浮遊する施設）等で使用された場合の故障や損傷。

（G）砂、さび、ごみ、及びほこり等による不具合、故障、損傷があった場合。

（H）消耗部品の交換、及び保守等の費用。

（Ｉ）本書の提示が無い場合、お客様名、お取扱い店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。

５．以下の場合に生じた費用、及び代金は、本書による無料保証の対象にはなりません。

（A）理由の如何を問わず、機器設置後に、不適切な設定により増加した電気代。

（B）機器を設置したことによって生じた使用場所とその周辺の変色、変形、異音等の補修費用。

６．本書は日本国内においてのみ有効です。

７．本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

STIEBEL ELTRON 日本スティーベル株式会社

SNS、Youtubeチャンネルのご案内

新製品紹介、お役立ち情報等を配信しています。フォロー、いいね！チャンネル登録を宜しくお願いします。

@nihonstiebel
製品のご案内、ご採用事例の紹介等

日本スティーベル（Nihon Stiebel）
製品のご案内、ご採用事例の紹介等

日本スティーベル株式会社
機器の設定、お手入れ、施工動画等
ご利用者様へのインタビュー動画等

STIEBEL ELTRON

https://www.stiebel-eltron.co.jp
製品一覧、会社概要、カタログ、取扱取付説明書、仕様図のダウンロード

日本スティーベル株式会社

〒140-0001　東京都品川区北品川1丁目9番2号
TOKYO Y.Bビル　2階

お客さまセンター

TEL: 03−5715−4655
（営業時間外、土日、祝日及び、特定休業日を除く）

■製造者　STIEBEL ELTRON

機器の仕様、外観、及び価格は、予告なく変更する場合があります。
本書の内容、所在地、電話番号は、予告なく変更になることがありますので予めご了承ください

商品コード
355463-46243-9938

T5210901
20260721G